

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和05年度（2023年度）		授業科目	グローバル実践英語 I B(0291)	
科目基礎情報							
科目番号		1E23		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	学修単位A: 1		
開設学科		産業システム工学科電気情報工学コース		対象学年	1		
開設期		秋学期(3rd-Q)		週時間数	3rd-Q:2		
教科書/教材		Two Sides to Every Discussion 2 Native Camp (Online)					
担当教員		田村 英門					
到達目標							
中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、積極的に身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。		中学校と高専1年での既習事項をもとに、日常生活・学校生活などで適切な表現を用いて、支援を受けながら身の回りのことについて説明するなどコミュニケーションをとることができる。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP6◎							
教育方法等							
概要		【開講学期】 Classes will be team-taught by a Japanese teacher and a native English speaker. Students should try to speak English helping each other instead of depending on Japanese. The overall aim of this class is to learn the two sides to every discussion and try to express his/her opinion with a clear reason, no matter who may or may not agree with it. Also, students should do their best to develop basic communication skills by building vocabulary and grammatical sentence patterns.					
授業の進め方・方法		The emphasis is on listening and speaking English in the classroom, and students are required to express their opinions in an activity such as pair work and group work. This class provides an opportunity to study with a native English teacher. Students are expected to have a positive attitude to listening, speaking, and writing English.					
注意点		Students are supposed to attend the class and hand in assignments without fail.					
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	Unit 13: April Fools' Day in Japan (1) 〈日本人はエープリルフールをもっと楽しむべきだ〉 Activities		To learn the vocabulary on the topic To comprehend the two sides to a discussion		
		2週	Unit 13: April Fools' Day in Japan (2) 〈日本人はエープリルフールをもっと楽しむべきだ〉 Activities		To express your opinion with a reason (writing, speaking) To communicate with one another		
		3週	Unit 17: Smartphone Lock Screens (1) 〈スマホのロック解除にはパスワードより生体認証だ〉 Activities		To learn the vocabulary on the topic To comprehend the two sides to a discussion		
		4週	Unit 17: Smartphone Lock Screens (2) 〈スマホのロック解除にはパスワードより生体認証だ〉 Activities		To express your opinion with a reason (writing, speaking) To communicate with one another		
		5週	Unit 18: YouTube vs. Normal TV (1) 〈見るならテレビよりもYouTubeだ〉 Activities		To learn the vocabulary on the topic To comprehend the two sides to a discussion		
		6週	Unit 18: YouTube vs. Normal TV (2) 〈見るならテレビよりもYouTubeだ〉 Activities		To express your opinion with a reason (writing, speaking) To communicate with one another		
		7週	Review of Unit 13, 17, and 18		Re-enforce what they have learned		
		8週	Exam (Feedback)		Exam and feedback		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	2		
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	2		
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	2		
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	2		
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	2		

			英語運用能力向上のための学習	日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	2	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	2	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	2	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	2	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	2	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。	1	
				英語でのディスカッション(必要に応じてディベート)を想定して、教室内でのやり取りや教室外での日常的な質問や応答などができる。	2	
				英語でディスカッション(必要に応じてディベート)を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	2	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	2	
				関心のあるトピックについて、200語程度の文章をパラグラフライティングなど論理的文章の構成に留意して書くことができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。	2	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	2	
	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	2	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	2	
				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	2	

評価割合					
	Exam	Homework	In-class performance		合計
総合評価割合	70	15	15	0	100
基礎的能力	70	15	15	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0